

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第66回 ビジネス文書実務検定試験 (3.7.4)

第1級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

受験番号

第66回 ビジネス文書実務検定試験 (3.7.4)

第1級 速度部門問題 (制限時間10分)

| | |
|---|---|
| 企業スポーツとは、自社のチームに所属している選手を社員として雇う形態をいう。これにより、選手は勤務時間の中でスポーツをすることが認められている。例えば、野球チームを所有する会社では、午前中は社業に専念して午後に練習を行うことで、仕事と競技の両立を図っている。このような形態でアマチュア選手が活動しているのは、日本のほかには韓国と台湾だけだという。 | 30 60 90 120 150 175 |
| 会社がスポーツチームを所有する目的として、社員の士気高揚や一体感の醸成などが挙げられる。ある会社では大会に出場する際、若手社員を中心に応援団を結成して、社名が入ったタオルやうちわを配布する。さらに、関連会社や取引先の人を招き、観戦しながら交流を深める機会を設けている。身近な選手が活躍することで、その効果は高まる。 | 205 235 265 295 325 334 |
| また、自社の存在を多くの人に知ってもらうことも目的の一つである。所属する選手やチームが注目されると、営業面や採用活動などに良い影響を及ぼす。最近ではSNSを用いて、トレーニングをしている動画の配信や大会日程、試合速報などの情報を公開しているチームもある。試合がない日には、スポーツ教室を開いて子どもたちを指導し、地域貢献に努めている会社も多い。 | 364 394 424 454 484 508 |
| 日本野球連盟（JABA）では、21世紀の新たな社会人野球における運営形態として、2003年から広域複合企業チームという制度を導入した。これは、所属する選手たちの雇用先を地元企業に分散させ、一つのチームを地域で支えていくものである。この制度により、会社の経営が厳しくなってしまった時でも、活動が続けられるようになった。アマチュア選手の活躍の場を確保していくためにも、企業スポーツの環境を整備していきたい。 | 538 568 598 628 658 688 710 |